校友会創立130周年祝う

記念式典であいさつする小宮校友会長

団結とさらなる発展を

校友会（小宮多喜次会長）の創立130周年を合わせて410人が「オール専修」の団結とさらなる発展を誓った。

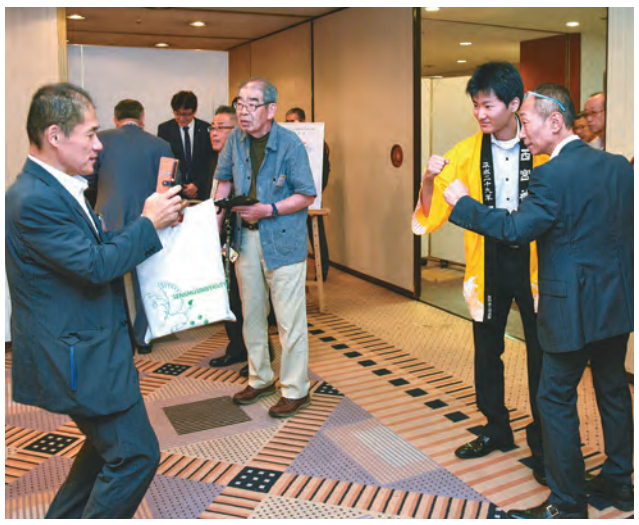
祝う記念式典が7月22日、東京都千代田区のホテルグランドパレスで行われた。校友・招待客ら

小宮会長は「明治20（1887）年に同窓会としてスタートして以来、歴史と建学の精神を受け継いできた先輩たちに感謝を申し上げます」とあいさつした。日髙義博理事長らが祝辞を述べた。

これ、体育会学生とともに、アマチュア囲碁界で破竹の勢いをみせる大関稔さん（商3）や、年頭の神事で「一番福」になった鈴木隆司さん（経済4）らに大きな拍手が寄せられた。

懇親会では、久しぶりに顔を合わせた校友同士が旧交を温めた。また、活躍する学生が紹介さ

（9面に関連記事）


握手や記念写真を求められる「一番福」の鈴木さん（右から２人目）

活躍する囲碁の大関さん（左端）に話しかける校友のみなさん

韓国・慶熙大学外国語学部と国際交流組織間協定

文学部は7月、韓国・慶熙（キョンヒ）大学外国語学部（関寛東学部長）と国際交流組織間協定を結んだ。来年度以降、本学日本語学科の専門科目「日本語教育実習」を慶熙大学で実施するほか、慶熙大学から短期留学生を受け入れ、教員や学生の交流を促進していく。

慶熙大学は1949年開学の韓国の私立大学で、法、政経、医、芸術など20以上の学部を擁する。卒業生には文在寅（ムンジェイン）大統領がいる。外国語学部はソウル近郊龍仁（ヨンイン）市の国際キャンパスにあり、日本語のほかフランス語、スペイン語など6学科からなる。

7月14日、慶熙大学日本語学科の東ヶ崎祐一助教授が生田キャンパスを訪問。佐々木重人学長や廣瀬玲子学部長らと懇談した。佐々木学長は「日本語教育実習を受け入れていただきありがたい」と謝意を表し、協定書に署名した。

廣瀬学部長は「今後、実のある交流ができるだろう」と期待を寄せ、東ヶ崎助教授は「相互に留学生を受け入れるなど、これから良い関係を築いていきたい」と応じた。

慶熙大学からは今冬、本学の国際交流プログラムに参加する予定。

「日本語教育実習」は日本語を外国人に教えるための知識やスキルを身につけるための実習。海外での実習は本学日本語学科の特色の一つ。韓国では夏期休暇中の約2週間実習を行う。ほかにカナダ・カルガリー大学でも実施している。

本学の国際交流組織間協定は4カ国11機関となった。

外国語学部が入る慶熙大学の国際キャンパス。来年度から日本語教育実習を行う予定＝９月12日

宮崎県との締結式で。笑顔で手をつなぐ日髙理事長（左から３人目）、佐々木学長（中央）、河野知事（右から３人目）ら

宮崎、鹿児島両県と就職支援協定を締結

専修大学は宮崎県、鹿児島県とそれぞれUIJターンを促進する就職支援協定を結んだ。宮崎県とは8月23日、鹿児島県とは同24日に締結した。本学の就職支援協定は2県が加わり19自治体となった。いずれも専修大学と各県が相互に連携・協力して、学生・保護者に対し、地元企業や就職説明会の情報を提供し、UIJターン就職の促進を図る。

宮崎県との締結式は宮崎県庁で行われた。宮崎県が大学と就職支援協定を結ぶのは初めて。河野俊嗣知事は「若年層の県外流出は大きな課題になっている。この協定で人材を確保したい」と期待を込めてあいさつした。

佐々木重人学長は「今後、宮崎県の情報が専修大学でリアルタイムに入手できる。宮崎県の発展に寄与する人材を育てていきたい」と力強く応じた。

宮崎県出身の日髙義博理事長は「県外に出ると宮崎の良さがよく分かる。後輩に、宮崎に帰る道を開くことができて喜びでいっぱいだ」と笑顔で語った。

ニュース専修
●「専修大学」ホームページ● https://www.senshu-u.ac.jp/
毎月１回15日発行
発行所
専修大学広報課
〒101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819（直）

主なニュース

【新学部長に聞く】森川幸一法学部長／松永賢次ネットワーク情報学部長……❷
育友会支部懇談会全国で開催　神奈川東・西支部／新潟支部……❸
「2017専大カップ」富岡オールスターズが2度目の栄冠……❺
社会的課題を解決　キャリアデザインセンターPBL活動中……❻
プエルトリコの大学で日本語教えた菊田さん（平15経済）……❽
石巻専修大学 高大産連携で作った「こめぼこ」楽天戦で完売……❿

「センディ」LINEスタンプ 配信中

神田鳳祭2017
10／7（土）8（日）神田キャンパス
※イベント情報は公式サイト（https://kandaohtori2017.jimdo.com）、公式Twitter（@kanda_ohtori）でご確認ください。